



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.669 2023.1.25

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

区立小・中学校給食費完全無償化につづき

補聴器補助の実現を



北区では、4日の区長表明で区立小・中学校の学校給食完全無償化が実現。高齢者からは「次は補聴器購入補助にぜひ道筋をつけてほしい」と声があがっています。(のの山けん)

年を重ねるごとに、まわりの音や会話している人の声が聞き取りづらくなってきました。しかし、補聴器は精密機械で高価なため、なかなか購入できないのが実態です。「聴こえ」の支援について東京23区の中では、すでに16区が補聴器補助に踏み出しており、新年度も中野区、杉並区が実

施に前向き。未だ助成制度にめどが立っていないのは、北区を含む数区だけとなっています。

日本共産党北区議員団は、北区が示す予算案に対して、毎年、組み替え動議を提案、補聴器補助の実現を求めてきました。また、住民陳情では自民、公明などが「継続審査」の態度をとる中、共産党は「採択」を主張してきました。

昨年22年9月の区議会では、本田正則議員が代表質問で一刻も早い助成の実現を要求。区から、「今後、医師会や関係機関のご協力も頂きながら、制度導入に向けた検討を進めていく」との答弁を引き出しました。

この4月からの新年度予算に補聴器補助が盛り込まれるよう、引き続き取り組んでいきます。

LaLaガーデンで区政報告

22日、赤羽のLaLaガーデンで区政報告。住民の運動と議会論戦で学校給食費の完全無償化が実現の運びとなったことや、赤羽駅東口の市街地再開発をはじめとするまちづくりの課題などについてお話ししました。(のの山けん)



多数の意見は

まちづくりワークショップ開催

「赤羽公園」は 現在の場所 で「リニューアル」

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会は、昨年12月10日と17日の2日にわたり一般公募区民の参加による、まちづくりワークショップを開催。私も両日、議論を傍聴しました。参加者は3つの班に分かれて討議し、それぞれ自分たちが考える赤羽のまちづくり案をまとめました。

この間の協議会幹事会の議論の中では、第一地区から第三地区までの市街地再開発（第二・第三地区は未定）で3本のタワーマンションの建設が予定されていることから、「赤羽小学校を赤羽公園と赤羽会館の位置に移転させてはどうか」などの意見が出されています（図参照）。

しかし、ワークショップでは各班から、「赤羽小と駅前商店街が一体となっているのが赤羽の魅力」、「赤羽公園は



芝生化してカフェを誘致するなど、もっと魅力的な公園に」など、赤羽小、赤羽公園とも、現在の場所でリニューアルすることを求める声が圧倒的多数でした。（のの山けん）

次の焦点は3月開催の「まちづくり懇談会」

今後の協議会の予定

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会は、この3月をめどに、まちづくり懇談会を開催する予定です。懇談会には住民だれでも参加することができますので、ご意見をお寄せ下さい。（のの山けん）

